

平成 25 年度事業計画

1 平成 24 年度の活動結果

(1) 取組実績

ア 情報提供（講演会，セミナー等）4 回

- ・ニーズ調査発の研究開発事例発表（6/18，総会 30 社 36 名）
- ・医療機器ビジネス参入講演会①（8/2，16 社 25 名）  
「医療機器ビジネスへの進出戦略」（医工連携推進機構）
- ・医療機器ビジネス参入講演会②（9/26，23 社 30 名）  
「異業種から医療機器産業への参入について」（株スズキプレシオン）
- ・中性子捕捉療法（BNCT）に関する講演会（2/19 予定）

イ 大手企業等との交流 4 回

- ・ホギメディカル工場見学会（1/18，18 社 24 名）
- ・日立ハイテクノロジーズ工場見学会（3/21 予定）
- ・日本歯周病学会への会員企業の出展（9/22，5 社，つくば国際会議場）
- ・つくば医工連携フォーラム 2013 への出展・参加（1/29，10 社，産総研）

ウ 技術力の向上

次のテーマで具体的な技術開発，製品開発を推進した。

- ① 成形外科向けスマコンソフト
- ② 歯科根幹治療用製品の開発
- ③ 手術室用タッチレスインターフェイス開発
- ④ 褥瘡防止クッション
- ⑤ 嚥下機能評価装置

●医療現場等ニーズ調査の活用等

昨年度実施した医療現場等のニーズ 128 件を医療機器商社の目利きにより 16 件に絞り込み，再度会員に情報提供した結果，開発案件は昨年度 3 件に加え，新たに 2 件が開発準備中。

エ 取組成果（H25.1.31 現在）

- ・大手企業等への技術提案 16 件（医療現場のニーズを会員企業に提供）
- ・製品化・試作案件 3 件（床ずれ防止枕ほか 2 件）
- ・会員企業間，研究機関への橋渡し等 12 件（企業間連携，県立医療大研究者の紹介等）
- ・競争的資金申請支援 3 件（JST1 件，大県基金 1 件，広沢財団 1 件）
- ・薬事法製造業許可取得支援 1 件（昨年度からの継続）

### (3) 課題

- ・薬事法の規制を受けない福祉・介護機器分野のマッチング支援を強化していく必要がある。
- ・県立医療大学から出されたニーズが切れ目なく共同研究・製品開発へとつながっていくような「医工連携プロジェクト」の体制を整えていく必要がある。
- ・医療ニーズ調査で抽出された課題に基づく研究開発をさらに促進させる必要がある。
- ・県内だけではなく、県外の医療機関との連携を図りながら医療ニーズの掘り起こしを行い、新製品・新技術開発へのつなげていく必要がある。

## 2 平成 25 年度の活動方針

- (1) 「健康・医療機器」分野については、具体的な開発案件を進め、「福祉・介護機器」分野においては、大手企業との交流やマッチング支援など強化する。
- (2) 県立医療大学と県内ものづくり企業との研究開発を一層促進するため、医師、看護師、理学療法士と県内ものづくり企業との意見交換の場を設ける。
- (3) 医療ニーズ調査に基づく新たな研究開発テーマ 4～5 件について共同研究・製品開発の支援を進める。
- (4) 栃木県、群馬県とも連携を図りながら、県境を越えて相互に医療ニーズの掘り起こしを行う。

## 3 平成 25 年度事業計画

### (1) 情報提供

#### ア 健康機器開発の現状等に関する情報提供

○健康産業と先進技術の融合～ヘルスケア機器の未来像～について

- ・時期：5月
- ・講師：オムロンヘルスケア(株) 商品開発統轄部

#### イ 介護・福祉機器開発の現状等に関する情報提供

○よりよい福祉機器の開発と実用化に向けて  
～ユーザーニーズに基づく着想と商品開発について～

- ・時期：6月（総会）
- ・講師：国際医療福祉大学 福祉援助工学部門

#### ウ 産学連携による福祉・介護機器開発について

○福祉・介護機器を産学連携で開発する際の留意点

- ・時期：8月
- ・講師：山口県立大学看護栄養学部 教授 田中マキ子氏

### (2) 大手企業等との交流

#### ア 県立医療大学との技術情報交流会の開催

- 各学科からの技術シーズと成果事例の紹介
- 附属病院からの現場ニーズの紹介

- 県内ものづくり企業と県立医療大学との共同研究事例の紹介など
  - ・時期：9月（以降、定期的に工場見学等への参加を呼びかけていく）
  - ・場所：県立医療大学

イ 大和ハウス工業㈱との展示商談会

大和ハウス工業㈱が求める技術ニーズに対する展示・商談会の開催

- ・時期：7月
- ・場所：未定

ウ 介護・福祉機器製造現場の見学

パラマウントベッド㈱千葉工場

介護・福祉分野でISO13485の認証をもつ品質管理等を見学

- ・時期：5月
- ・場所：パラマウントベッド㈱千葉工場（千葉県山武市）

エ 栃木県、群馬県内の医療機関のニーズ掘り起こし

とちぎ医療機器産業振興協議会、群馬県医工連携研究会と共催で県境を越えた相互の医療機関の医療ニーズ発表会を開催する。

- ・時期：10月～12月
- ・想定する機関：
  - 筑波大学（茨城県）、国際医療福祉大学（栃木県）、群馬大学（群馬県）
- ・場所：各大学

オ 会員企業の工場見学

協議会会員の工場を見学する。

- ・時期：2月
- ・場所：会員企業から数社

(3) 技術力向上

医療やリハビリテーション現場のニーズに基づく研究開発

○H25年度の新規開発テーマ

内視鏡用マウスピース、離床・着床センサー、救急救命用ボードのマット開発など4件

●薬事法分科会

新たに薬事法製造販売業やISO13485の取得を目指す企業の支援を行う。

(4) その他

○つくば医工連携フォーラムへの出展

#### 4 年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新製品開発	→											
健康，介護・福祉機器の現状に関する情報提供		オムロンヘルスケア	国際医療福祉大学	大和ハウス工業								
産学連携に関する情報提供					山口県立医療大学							
大手企業等との交流		パラマウントベッド		大和ハウス工業		県立医療大学との技術情報交換会	栃木県・群馬県内の病院との交流	→			会員企業の工場見学	県立医療大学との技術情報交換会
競争的資金獲得		● 大県基金				● 大県基金				● 大県基金		
薬事法申請支援	→											
その他			総会							つくば医工連携フォーラム		